

支援プログラム

作成日 令和6年10月1日



事業所名 社会福祉法人 可愛会 児童発達支援事業所 かめさんち

法人理念 『寄り添っていく、進歩していく、やさしくあり続ける』

支援方針 お子様一人一人の発達に合わせた遊びを通して楽しみを増やし、意欲を高めながら、生活に必要なスキルやコミュニケーション能力を育てていきます。

また、送迎時等で保護者さんとお子様の課題や成長についてお話をしています。

◎療育の手立て：**構造化**(スケジュール、空間)、**太田ステージ**(各自課題)、**応用行動分析**(きっかけ⇒行動⇒結果により検討)、**PECS®**(絵カードを使ったコミュニケーション法)

営業時間 8時30分から17時30分

午前のグループ：9時から12時 午後のグループ13時から16時

送迎実施の有無 なし～お子様の様子をお話しできるように送迎をお願いしています～

職員の質の向上 支援に関しての知識や技術を高められるように取り組みます。

※1回/週 開催のケース検討会議や研修、自治体などで実施の研修等への参加など

主な行事等 こども：地域の**事業所外療育**(おれんじ鉄道乗車・新田神社初詣など)、

園や事業所との交流、お祭りごっこなど

保護者：面談週間、療育参観、ふち茶話会



※年間予定表や月報で活動計画を配布してお知らせします



～支援内容「につづく～

★健康・生活

心も身体も健やかに、生活のリズムや生活習慣を形成し、**生活に必要な基本的な生活スキルの獲得を目指します。**

生活習慣の取り組み(衣類や靴の着脱・排泄・手洗いなど)、

生活の見通しを持つ(構造化、スケジュール、絵カードなど)

家族支援送迎時等に家庭や園で様子、就園・就学に向けた相談等を随時お話できるようにしています。

移行支援年齢や家庭のニーズに応じて、就園や就学、地域の情報を個別やグループごとに深めています。

地域支援・地域連携こどもや保護者の現況から必要に応じて、支援に関わる地域の関係者・関係機関と連携をします。

★運動・感覚

体幹を鍛えることを意識し、全身を動かすような大きくてまとまりのある動き(粗大運動)や手先を使った細かくて複雑な動き(微細運動)の発達を促し、**ひとひとの感覚に沿った姿勢保持や運動・動作の習得を目指します。**

からだ遊び(ボール、フープ、マット、鉄棒など)、指先遊び(ビーズ、シール、つみきなど課題に応じた操作)、感触遊び(スライム、小麦粉、片栗粉、パン粉、絵の具など)、さんぽ(歩く)

家族に寄り添い、お子様の成長を共に喜びます

かめさんちの

支援内容



児童発達支援事業所

★認知・行動

視覚的な要素を取り入れて、色や数、大小、長短、高低といった比較に関する基本的な概念の理解を促し、**自分で必要な情報を集めて理解し、その場に応じて行動する力を育みます。**

『太田ステージ』の活用、機能的な行動(話を聞く、順番を待つ、物の貸し借り、返事をする、手を挙げるなど)、課題遊び(同じもののさがし、仲間わけ、まちがいさがし、型はめなど)、制作活動(折り紙、工作など)、からだ遊び(サーキット、色探しなど)、さんぽ(交通ルール)

★言語・コミュニケーション

伝わる伝えたい環境や関係性を整え、個別にコミュニケーションを促し、集団でも意思の伝達ができるような機会や手段を活用し、**コミュニケーションをする楽しさや喜びを味わう経験を積み重ねていきます。**

機能的なコミュニケーション①要求する(遊び・道具・おやつ・活動など)②はい/いいえの表出(ほしい?への応答など)③手伝つての表出(困っている表出など)④「待つて」に応じる(順番、待機の理解獲得)⑤「だめ」に応じる(状況の理解受け入れ)⑥拒否の表出(したくない、苦手、恥ずかしい気持ちの機能的な表出)、**思いを伝える**(1対1の対話、少人数での会話、人前での発表)、絵本(読み聞かせ、見る、音読)、線遊び(なぞる、かく)、口をつかった遊び(シャボン玉、風車など)、PECS®※子どもさんに応じて活用

★人間関係・社会性

スタッフとの信頼関係を深め、活動を明確にした環境を設定し、他者との安定した関係を築き、**思考や感覚や行動の調整力や集団での生活力を育てていきます。**

挨拶(場面に応じて:感謝・挨拶言葉・謝罪)、順番や交代(複数での遊びや活動)、勝ち負けの受容(椅子取りゲーム、鬼ごっこなど)、見立て・つもり遊び(粘土、ままごとなど)、協同遊び(お店屋さんごっこ、積み木で街づくりなど)、お手伝い、さんぽ(共感)